

(仮称)健康長寿のまちづくり推進条例骨子案に係るパブリック・コメントの結果について

1 募集期間

令和元年9月1日(日)～令和元年9月30日(月)

2 意見の提出者数及び件数

提出者数2名/提出件数11件

3 意見の内容及び意見に対する回答

整理番号	意見の内容	意見に対する回答	条例修正の有無
1	<p>・「笑いの日条例」の制定 毎年8月8日を「笑いの日」と決めて、米沢市内・置賜一円で微笑みと笑顔、笑いとユーモアをこころがけ実践する日とすること。</p>	<p>笑いが健康にもたらす効果については、医学的な研究もなされており、健康寿命の延伸に向けた取組の一つとして、先進事例等の調査研究を進めてまいりたいと考えております。</p>	無
2	<p>・健康づくりに、笑い講座を設定すること。 市民の健康づくりの講座や事業取り組みの中に「笑いの講座」を設定し、自分と心の解放ができず笑えない人をなくすための講座・研修会を市内各コミュニティセンターごと、各老人クラブや食生活改善推進協議会などの団体から、笑いの担い手を育成する事業を図ること。</p>	<p>健康づくりの一環として、介護予防教室等において、様々な講座を開催しており、このなかで認知症予防やうつ病の予防に「笑い」を取り入れた教室も開催されております。 これら教室や講座などの取り組みを継続していくとともに、引き続き健康づくりに必要な事業や講座等の開催について検討してまいります。また、担い手の育成事業については、今後の検討課題とさせていただきたいと考えております。</p>	無

整理番号	意見の内容	意見に対する回答	条例修正の有無
3	<p>・定期的中期的な範囲での研究・追跡調査をする部署を設置し職員を配置して、その効果や実績を公表すること。</p>	<p>健康長寿のまちづくりについては健康福祉部健康課で所管しておりますが、健康づくりに関わる様々な事業や講座については、各課においてPDCAサイクルで事業の効果検証をしております。今後も健康づくりに係る事業について、実績を公表してまいります。</p>	無
4	<p>・笑いとユーモアの推進強化 近年の動向として、社会にも職場にも、そして家庭内にもユーモア、笑いが少なくなっている事に鑑み、改めてユーモア・笑いの効用を再認識し、実生活の中に反映して行く為、その人材育成に取り組めます。</p>	<p>笑いに関する人材育成への取り組みを含め、笑いによる健康づくりにつきましては、今後とも御指導や御協力をいただきたいと考えております。</p>	無
5	<p>・笑いによる各種効果・効用、認知症予防や心身の健康保持増進に役立てる積極的啓もう活動を展開すること。</p>	<p>本市では市民健康セミナーを毎年開催しており、平成29年度と平成30年度は特に「笑い与健康」をテーマに著名人をお招きし、講演会を実施してきたところです。 今後も市民健康セミナーなどの機会を通じて、笑いによる効果等について啓発活動を行ってまいりたいと考えております。</p>	無

整理番号	意見の内容	意見に対する回答	条例修正の有無
6	<p>・笑いの講座開催時には、参加者の受講前・後の血糖値・血圧・免疫力値などの計測値を比較して、効果の確認をして行く体制整備を図る。</p>	<p>笑いによる健康への医学的効果について、整理番号1の回答のとおり、情報の収集及び先進事例等の調査研究を行ってまいりたいと考えております。事業実施に向けた体制の整備については、その後の検討課題とさせていただきたいと思っております。</p>	無
7	<p>・日々、笑った回数を計測しながら、生活に笑いの習慣化を図る。</p>	<p>日々の生活において、笑いを生活習慣とすることについては、笑いによる健康効果と合わせて今後の検討課題とさせていただきます。</p>	無
8	<p>・仮称「笑って暮らそう友の会」などの組織化を図り、組織的に笑って暮らせる地域づくりに取り組む。</p>	<p>笑いの健康づくりに関しての組織化については、今後の検討とさせていただきたいと考えております。</p>	無
9	<p>機関誌の発行を行い、広く笑いの効用を教育・宣伝、推進していく。</p>	<p>整理番号6でも回答したとおり、まずは、笑いの健康づくりに関し、笑いによる健康への医学的効果について、情報の収集等を行い、その結果として有益な情報は、専門的知見を踏まえ広報誌やホームページ、Facebookなどを用いて広く周知を図ってまいりたいと考えております。</p>	無

整理番号	意見の内容	意見に対する回答	条例修正の有無
10	<ul style="list-style-type: none"> 「笑いの日」フェスティバルの開催と公開をする。 	<p>「笑いの日」を制定し、お笑い芸人による様々なイベントを開催している先進事例があることから、このような取り組みについて、調査・研究を重ねてまいりたいと考えております。</p>	無
11	<p>健康づくり関係者の解説中、「歯科衛生士」の次に「歯科技工士」を入れておく必要があるかと思えます。</p>	<p>御意見を踏まえ解説文へ追加することといたします。</p>	無